

安 全 情 報

No7/2019

CANTV職員を騙った侵入窃盗発生に対する注意喚起

最近、カラカス市内で、CANTV職員を騙って住居に侵入し、車両部品等を窃取する窃盗事件が多発しています。以下の情報を参照し、同種手口の被害に遭わないよう、気をつけて下さい。

記

1 被疑者について

男性1名、青色Tシャツ、青色帽子着用、年齢50代くらい

(※上述は判明している人物であり、グループで犯行に及んでいると思われる。)

2 発生場所

カラカス市内

(エル・ロサル地区、ラ・カステジャーナ地区、チャカオ地区、ロス・パロス・グランデス地区)

3 犯罪の手口

上下青色系の服装をした男が、CANTV職員を騙り、「インターネットのケーブル点検(修理)に来た。」と告げて、住居やマンションに侵入。住居敷地内において、駐車してある車から部品等を窃取するもの。

注意事項

(1) 上述の窃盗は、本年に入ってから多発しているものです。こういった人物が訪問して来た場合、身分証をしっかりと確認し、修理等に身に覚えが無ければ、敷地内に入れることを許可しないようにして下さい。出入口に警備員が常駐しているマンションにお住まいの方は、警備員にもこういった手口の犯罪が起きていることを伝え、むやみに中へ入れないように、注意喚起することが重要です。

(2) 現在のところ、カラカス市内での発生しか確認されていませんが、CANTVのインターネットを使用している家庭では起こりうることで、カラカス市以外にお住まいの方も注意が必要です。

(3) また、CANTV職員に限らず、この種の職員を名乗る訪問客が来た場合には、身分証を確実に確認し、「身に覚えがない、不審である。」と感じた時には、住居の中には入れないようにして下さい。